

【コンセプト案】

未来をつむぐ、みんなの拠点

9年の学びから、100年先へ。
心と体を育み、安心と挑戦が融合する、
多様性をつなぐ唯一無二の新拠点

■はじめに

朋有小学校・巢鴨小学校・西巢鴨中学校の三校連携と、地域に開かれたスポーツ施設の融合による、豊島区の新たな拠点をつくっていききたいとの思いから、地域の歴史やみんなの想いを未来へつなぎ、多様な人々がつながり交じり合う未来像を、コンセプトに込めました。

■私たち（考える会）の思い

私たちが目指すのは、世代や立場を超えた「みんな」が輝ける拠点です。

「未来をつむぐ」

朋有小学校・巢鴨小学校・西巢鴨中学校の三校の歴史をつなぎつつ、この地で育まれてきた地域の文化や伝統を大切に継承しながら、学校・地域・スポーツの関係者が一体となり、新しい未来を織りなす拠点を整備したい。

※つむぐ：バラバラだった繊維を引き出し、よりをかけて、一本の長い「糸」にする行為。

「みんなの拠点」

豊島区の特徴でもある多様な文化背景を持つ「みんな」を受け入れ、多くの人が集い、交流する「唯一無二」の新しい拠り所。

「9年の学びから、100年先へ」

子どもたちには、義務教育9年間という人生の確かな土台を。地域の人々には、スポーツや生涯学習を通じて、人生100年時代を生き生きと過ごす活力を。

子どもたちの成長を見守りながら、大人たちも共に成長し続ける、終わりのない学びと交流を大事にしたい。

「安心と挑戦が融合」

地域に開かれた防災・交流の要でありながら、セキュリティラインを確保し、安心して最先端の学びやスポーツに挑戦できる。

■コンセプトを構成する4つの視点

本コンセプトを具現化するために、私たちは以下の4つの想いを大事にしました。

1. 学校とスポーツ施設の一体整備の可能性

学校教育と一般スポーツ施設、それぞれの枠組みを超えた「一体整備」だからこそ実現できる、唯一無二の価値を生み出したい。

【施設の高度化】：単独の学校施設では難しい、本格的で充実したスポーツ機能を確保し、子どもたちに「本物」に触れる最先端の学習環境を整備したい。

【多機能な活用】：学校と総合体育場、お互いの活動を尊重しながら、学校が使用していない時は地域やスポーツ団体の活動の場とする、総合体育場を使用していない時は学校の活動の場とするなど、施設を最大限有効活用したい。

2. 安全・安心

「開かれた施設」と「守られた学校」の両立を重視します。

【セキュリティの確立】：学校活動と一般利用の動線を巧みに制御し、コミュニティスクールの精神に則り、子どもたちが安心して学べる環境を整備したい。

【地域の防災拠点】：災害時には「みんな」の命を守る避難所として機能し、平時・有事問わず地域の心の拠り所となる「安心」を提供する拠点でありたい。

3. 多様性（みんな）

豊島区の象徴である「多様性」を包括する拠点を目指します。

【全世代の居場所】：幼児から高齢者まで、また障害の有無や国籍に関わらず、誰もが使いやすく自分らしく過ごせるインクルーシブな環境を整えたい。

【多様な活動の受容】：スポーツだけでなく、文化活動や憩いの場としても機能し、多様な目的を持つ人々を温かく迎え入れる拠点としたい。

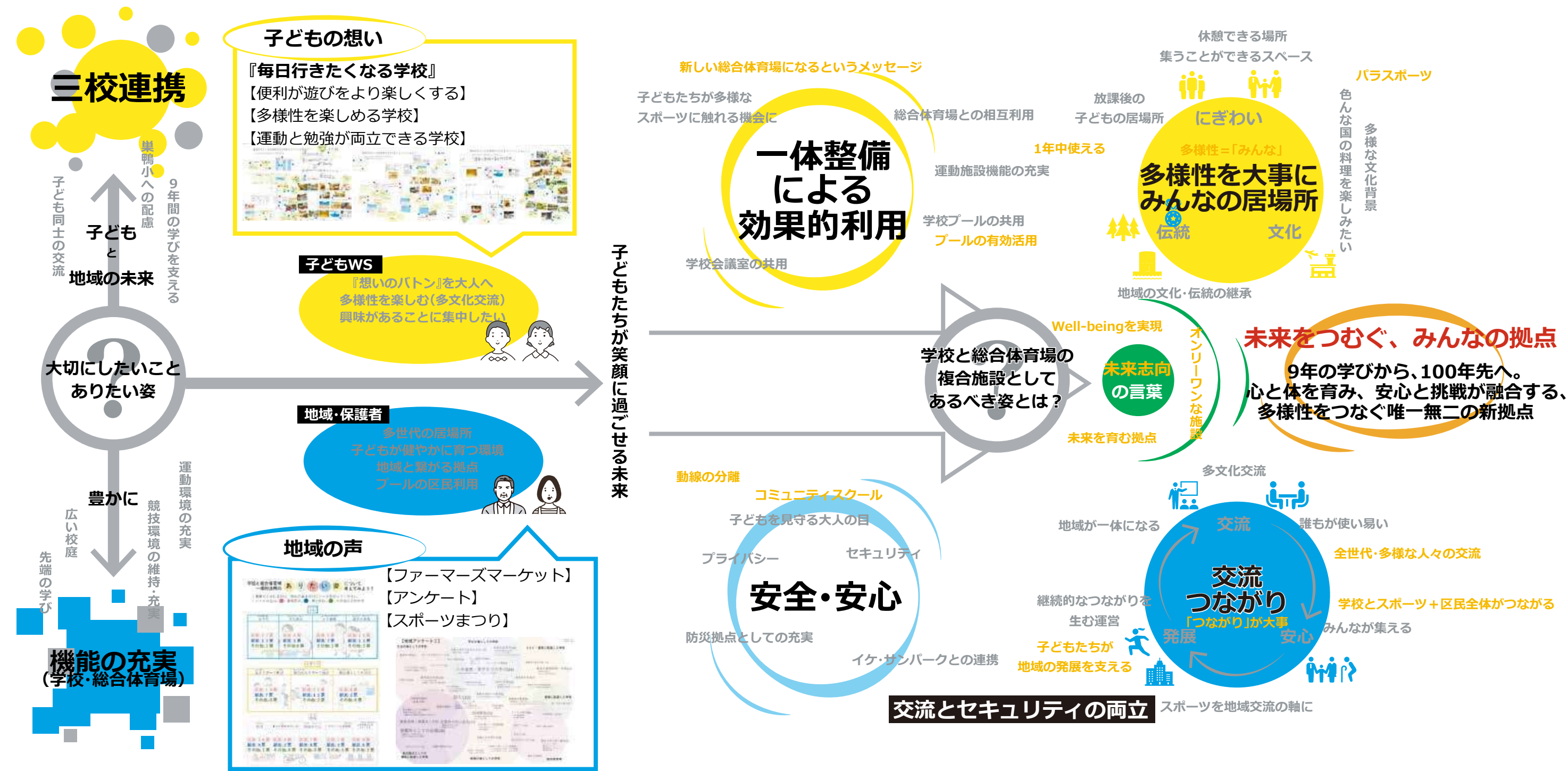
4. 交流・つながり

人と人、過去と未来をつなぐみんなの広場のような拠点。

【三校と地域の連携】：朋有小・巣鴨小・西巣鴨中の三校連携を核に、地域住民やスポーツ団体が交流し、地域の発展を支える拠点としたい。

【文化・伝統の継承と発展】：地域に根付く祭りや伝統行事、そして各校が積み重ねてきた歴史や校風をこの新拠点が「つなぎ」、次世代へと継承しながら、新たな地域文化を育んでいきたい。

意見交換シート



立地特性

①子育て世代層の流入



②中心市街地/多様性



③学校施設とスポーツ施設の隣接



④イケ・サンパークとの隣接

